

第6学年○組外国語活動指導案

1 単元名 Unit 2 Welcome to Japan. 日本の文化 『We Can! 2』

2 単元について

○児童観

〈省略〉

○教材観

本単元は、季節と絡めながら行事や食事などの日本文化を取り上げる。他教科等の学習で学んだ行事や食事などの日本文化を単なる知識としてではなく、「自分事」と捉えさせ、自分の考えや気持ちを伝え合う言語活動を行うことがねらいである。また、既習の表現「We have ~ in... We can ~. It's ~.」などを前単元までとは異なる場面で繰り返し扱いながら、より一層の定着を図るというねらいもある。

関連する学習指導要領における領域別目標は次のとおりである。

〈聞くこと〉 ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。

〈話すこと〉 イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどをやり取り 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。

〈書くこと〉 イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

○指導観

本単元は、既習の表現を前単元までとは異なる場面で繰り返し扱い、一層の定着を図ることがねらいとなっているが、本学級の児童の中には十分に音声で身に付いていない児童もいる。そこで、既習の表現をたっぷりと繰り返し何度も聞かせることで表現に慣れ親しませたい。また、日本文化に対する既習の知識量にも差があると考え。そこで、地図帳を活用したり、教師とのやり取りをしたりする中から、日本文化を「自分事」として捉えられるようにしていきたい。活動をするにあたり、児童が思わず聞きたくなる、話したくなるような場面を設定していく。さらに、本単元の最終時にALTに日本文化を伝えるという課題を第1時に児童と共有して、児童に英語を話す目的意識を持たせながら毎時間の活動に取り組めるようにしていく。帯活動として、歌の活動と早口言葉を通して英語のもつ独特のリズムに親しませるとともに、音と文字の関係にも気付かせられるようにしていく。

3 単元の目標と評価の観点

- ・日本の行事などについて、聞いたり言ったりすることができる。 (知識及び技能)
- ・日本の行事、自分が好きな日本文化について伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。 (思考力、判断力、表現力等)
- ・他者に配慮しながら、日本文化について伝え合おうとする。 (学びに向かう力、人間性等)

4 単元の計画（4時間扱い）

時	目標・活動 *【 】誌面上に掲載された活動	表現・語彙例	評価			
			知 技	思 判 表	学 人	評価規準 (評価方法)
1	<p>○日本の季節の行事やお祭りについて聞いたり言ったりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Song I Love the Mountains ・ Small Talk 題材：この花は？ ・ この行事やお祭りの季節は？ ・ 【Let's Listen 1】 ・ 単元のゴールの確認 	<p>【表現】 What flowers are these? They are sunflowers. What season is this? It's summer. In what season do we have <i>hanami</i>? We have <i>hanami</i> in spring. 【語句】 四季 日本の行事や祭り等</p>	○			<p>We have ~ in ~. を使って季節の行事やお祭りについて言ったり聞いたりすることができる。 (行動観察)</p>
2 本時	<p>○自分の考える日本行事やお祭りについて伝え合っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Song I Love the Mountains ・ Small Talk 題材：好きな季節は？ ・ 正しい季節の行事は？ ・ Reading and Writing ・ 早口言葉 Brother Bob is a big boy. 	<p>【表現】 What season do you like? I like winter. What events do we have in spring? We have hanami in spring. It's fun. It's beautiful. 【語句】 気持ち表す言葉</p>		○		<p>We have ~ in ~. It's ~. を使って、自分の考える日本の文化について伝え合おうとしている。 (行動観察)</p>
3	<p>○おすすめの日本食について言ったり聞いたりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 早口言葉 Peter Piper has a puppy. ・ Song I Love the Mountains ・ Small Talk 題材：今朝の朝ご飯 ・ 日本食と言えば？ ・ Reading and Writing ・ 【Activity】 ペアでのポスターづくり 	<p>【語句】 What food do we have in Japan? We have soba. It's delicious. 【語句】 日本食 気持ちを表す言葉</p>	○			<p>We have .It's delicious. の表現を使って自分のおすすめの日本食を言ったり聞いたりすることができる。 (行動観察)</p>
4	<p>○他者に配慮しながら、自分の考える日本文化について伝え合う。</p> <p>○自分の考える日本文化について例文を参考に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 早口言葉 The dog is in the doghouse. ・ Song I Love the Mountains ・ Review ・ 【Activity】 ALT に日本文化を伝える。 ・ 【Let's Read and Wright】 日本ガイドブックづくり 	<p>【表現】 We have hanami in spring. It's fun. It's beautiful. We have soba. It's delicious. 【語句】 四季 日本の行事や祭り等 日本食 気持ちを表す言葉</p>		○	○	<p>We have ~ in ~. 等を使って、自分の考える日本文化について伝え合おうとしている。(行動観察、記述観察)</p> <p>○ 日本文化について話したことを、今まで書き写している文を参考にしながら書こうとしている。 (行動観察、記述観察)</p>

5 本時の展開

- (1) 目標：自分の考える日本の行事やお祭りについて伝え合う。(思考力、判断力、表現力等)
- (2) 展開 (2/4時)

時間	児童(C)の活動	指導者(T)の働きかけ	○指導上の留意点 ◎評価〈方法〉
1分	1 挨拶 T : Hello, class. T : How are you today? T : How is the weather?	・全体に挨拶をする。 C : Hello, ○○ sensei. C : I'm fine. C : It's sunny.	○外国語活動の時間が始まったことを意識させるために、英語で挨拶をする。
3分	2 Song 「I Love the Mountains」 I love the mountains. I love the rolling hills. I love the flowers. I love the daffodils. I love the fireside. When all the lights are low. Boom dee ah dah. Boom dee ah dah. Boom dee ah dah. Boom dee ay. Boom dee ah dah. Boom dee ah dah. Boom dee ah dah. Boom dee ay.	・歌を歌う。 ・児童に聞こえた言葉を探ね、その言葉を絵で表す。	○教師が歌ったり、歌詞に出てくる言葉を発問したりして、前時を想起させる。 ○歌の一部を児童に任せることで、歌える場所を多くしていく。 ○児童だけで歌わせる場面を設定し、インプットが必要なところを確認し、必要に応じてインプットをし直す。
5分	3 Small Talk 「好きな季節は？」 T : Look at this picture. What flowers are these? C : 桜 T : Yes. They are cherry blossoms. What season is this? C : 春。 T : Yes. It's spring. (他の季節も同様に行う) T : I like skiing. And I like snowboarding. So, I like winter. What season do you like? C : 夏 T : You like summer. I like winter. What season do you like?	・何の花か、季節はいつかを尋ねる。 ・全員の児童に好きな季節を尋ねる。	○季節の花について尋ねる中から、季節の言い方を想起させる。 ○単語だけで答える児童には、 You like summer. I like winter. などのようにフルセンテンスをインプットすることで、アウトプットにつなげさせる。 ○好きな季節を答えられない児童には I like winter. Do you like winter? などの質問して、英語でのやり取りができるようにする。
10分	4 正しい季節の行事は？ ・季節マッチングゲームを行う。 T : (絵カードを裏返してバラバラに黒板に掲示する。) 〈展開例〉春の場合 T : (カードをひっくり返しながらか) What is this event? C : お花見。 T : Yes. It's a <i>bonodori</i> . We have <i>bonodori</i> in spring? Is it OK? C : No. T : じゃあ、どの季節ならいい？ C : Summer. T : We have <i>bonodori</i> in summer. It's fun.	・児童とやり取りをしながら、季節と行事をマッチングする。 ・活動を行いながら、本時の学習表現を何度も聞かせる。	○児童と行事と季節を並べ替える活動を行うことで、 We have ~ in ~. を聞かせるとともに、前時の学習表現を想起させる。 ○掲示物を活用することで、本時の学習表現である It's fun. It's beautiful. を繰り返しインプットする。 ○一度扱った行事も再度繰り返して聞かせ、インプット量を増やすとともに情報を整理する。
10分	5 もしもALTの先生に紹介するなら ・ALTに紹介したい行事を	・児童の様子を確認しながら、発話させる。	○意味と音声一致できたら、リピートさせる。 ○思考する場面をつくるため、全

	伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人を指名する。 ・ペアで紹介するよう指示する。 	<p>てをリピートさせるのではなくALTに紹介したいものだけをリピートさせる。</p> <p>○アウトプットする機会を増やすため、ペアでのやり取りを行う。自分の考える日本の行事やお祭りについて伝え合っている。 〈行動観察〉</p>
10分	6 Reading and Writing 〈読むこと〉 <ul style="list-style-type: none"> ・予想読み ・指追い読み ・当てはまり音読 〈書くこと〉 <ul style="list-style-type: none"> ・なぞり書き 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを配布する。 ・どんなことが書かれていそうか尋ねる。 ・音読をする。 ・自分に当てはまるもの1つだけをなぞるように指示を出す。 	<p>○予想読みをさせたり、指追い読みをさせたりすることで、丁寧に音声と文字を一致させる。</p> <p>○児童の音読する様子を観察して、音声安定したら、文字をなぞらせる。</p> <p>○机間指導しながら、英文を確認したり、児童に英文の音声化をさせたりする。</p>
5分	7 早口言葉 「Brother Bob is a big boy.」	<ul style="list-style-type: none"> ・PC操作をし、動画を視聴させる。 ・早口言葉の様子を表すイラストを掲示する。 	<p>○資料（イラスト）を活用することで、内容が捉えられるようにする。</p> <p>○「口を閉じた回数」を発問することで、何度も聞かせる。</p> <p>○何度も口に出して言わせることで、上手く言えない楽しさを味わわせる。</p> <p>○早口言葉の音について発問することで、頭字音に意識を向けさせるとともに、頭字音にどんな音が入るか考えさせる。</p>
	<p>Brother Bob is a big boy. Look at this boy. His name is Bob. He is Ken's big brother. お兄さん。 実際。He is big. A big boy. He is a big boy. Brother Bob is a big boy.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早口言葉に取り組ませる。 ・どんな音が多かったか発問する。 ・頭字音を除いた文を掲示する。 	
1分	8 挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶をする。 	○気持ちよく挨拶をさせる。
	<p>T : That's all for today. Good bye, class. C : Good bye, Mr. ○○.</p>		

Unit 2 Welcome to Japan. 日本の文化 『We Can! 2』

第1時間目から第4時間目の本時の展開

第1時間目

(1) 目標

日本の季節の行事やお祭りについて聞いたり言ったりすることができる。(知識及び技能)

(2) 展開 (1/4時)

時間	児童(C)の活動 *【 】誌面化されている活動	指導者(T)の働きかけ	○指導上の留意点 ◎評価〈方法〉
1分	1 挨拶 T : Hello, class. T : How are you today? T : How is the weather?	・全体に挨拶をする。 C : Hello, ○○ sensei. C : I'm fine. C : It's sunny.	○外国語活動の時間が始まったことを意識させるために、英語で挨拶をする。
5分	2 Song 「I Love the Mountains」 I love the mountains. I love the rolling hills. I love the flowers. I love the daffodils. I love the fireside. When all the lights are low. Boom dee ah dah. Boom dee ah dah. Boom dee ah dah. Boom dee ay. Boom dee ah dah. Boom dee ah dah. Boom dee ah dah. Boom dee ay.	・歌を歌う。 ・児童に聞こえた言葉を尋ね、その言葉を絵で表す。	○児童に発問を繰り返して、何度も聞かせながらインプットをする。 ○児童が聞き取れた言葉を絵で表すことで、歌の全体像を掴ませる。 ○児童に歌えそうなところから歌わせるように、声をかける。 ○児童だけで歌わせる場面を設定し、インプットが必要なところを確認し、必要に応じてインプットをし直す。
5分	3 Small Talk 「この花は何？」 T : Look at this picture. What flowers are these? C : 桜 T : Yes. They are cherry blossoms. What season is this? S : 春 T : Yes. It's spring. (他の季節も同様に行う)	・何の花か、季節はいつか、好きな季節は何かなどのやり取りを行う。	○児童に季節の言い方を想起させるために、Small Talkを行う。 ○季節の花の写真やジェスチャーなどを活用して、Small Talkの内容を捉えやすくする。 ○次の活動につなげるため、扱った季節の写真を掲示していく。
10分	4 Main 1 「この行事の季節は？」 T : In what season do we have <i>hinamatsuri</i> ? Do we have <i>hinamatsuri</i> in winter? No. In what season do we have <i>hinamatsuri</i> ? C : 春。 T : Yes. We have <i>hinamatsuri</i> in spring. T : 他にも春の行事やお祭りはないかな? C : お花見。 T : We have Ohanami in spring. ※他の季節も同様に進める。	・写真の行事がどの季節に行われるか尋ね、児童の考えを英語にして繰り返す。 ・それぞれの季節に行われる行事を尋ね、児童の考えを英語にして繰り返す。	○季節の行事を出し合う中から、本時にインプットしい表現を何度も繰り返し聞かせる。 ○写真や絵を活用して、児童が内容を捉えやすくする。 ○一度扱った行事も再度繰り返して聞かせ、インプット量を増やすとともに情報を整理する。
		・季節の行事について教師の後に続けて、アウトプットさせる。	○意味と音声を考えさせるために、児童が「なるほど」と思ったものだけアウトプットするように声をかける。

			◎日本の季節の行事やお祭りについて言ったり聞いたりすることができる。〈行動観察〉
8分	5 Main 2 【Let's Listen 1】 〈内容例〉 Hello. I'm Kenta. I like Japan very much. In autumn, we have <i>momijigari</i> . The trees change colors. The leaves go red, yellow, and brown. The colored leaves are very beautiful.	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に入る前に、どんなことが紹介されるかを予想させる。 ・PCの操作をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童に話される内容を予想させることで、聞くポイントを意識させる。 ○音声をしっかりと聞かせるために、始めはテキストを開かずに取り組ませる。 ○本時に扱った表現を聞き取らせるために、何度も聞かせる。
10分	6 Reading and writing 〈読むこと〉 <ul style="list-style-type: none"> ・予想読み ・指追い読み ・当てはまり音読 〈書くこと〉 <ul style="list-style-type: none"> ・なぞり書き 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなことが書かれていそうか尋ねる。 ・英文を音読する。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分に当てはまるもの1つだけをなぞるように指示を出す。 ・なぞった英文を尋ねながら、児童に英文を音声化させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○予想読みをさせたり、指追い読みをさせたりすることで、丁寧に音声と文字を一致させる。 ○児童の音読する様子を観察して、音声安定したら、文字をなぞらせる。 ○机間指導しながら、英文を確認したり、児童に英文の音声化をさせたりする。
1分	8 挨拶 T : That's all for today. Good bye, class. C : Good bye, ○○ sensei.	<ul style="list-style-type: none"> ・最終時の単元の活動について説明する。 ・全体に挨拶をする。 	○最終時に新しく赴任したALTに日本文化について伝えることを話し、本単元の学習に見通しを持たせる。

第3時間目

(1) 目標

おすすめの日本食について言ったり聞いたりすることができる。

(知識及び技能)

(2) 展開 (3/4時)

時間	児童(C)の活動	指導者(T)の働きかけ	○指導上の留意点 ◎評価〈方法〉
1分	1 挨拶 T : Hello, class. T : How are you today? T : How is the weather?	・全体に挨拶をする。 C : Hello, ○○ sensei. C : I'm fine. C : It's sunny.	○外国語活動の時間が始まったことを意識させるために、英語で挨拶をする。
4分	2 早口言葉 「Peter Piper has a puppy.」 ・早口言葉に取り組む。	・PC操作をし、動画を視聴させる。 ・早口言葉の様子を表す資料を掲示する。 ・できるかどうかを尋ね、早口言葉に取り組ませる。 ・どんな音が多いか発問する。 ・英文を提示し、どんな文字が多いか発問する。	○資料(イラスト)を活用することで、内容が捉えられるようにする。 ○何度も口に出して言わせることで、上手く言えない楽しさを味わわせる。 ○早口言葉の音について発問することで、頭字音に意識を向けさせるとともに、頭字音にどんな音が入るか考えさせる。
3分	3 Song 「I Love the Mountains」 ・歌を歌う。 I love the mountains. I love the rolling hills. I love the flowers. I love the daffodils. I love the fireside. When all the lights are low. Boom dee ah dah. Boom dee ah dah. Boom dee ah dah. Boom dee ay. Boom dee ah dah. Boom dee ah dah. Boom dee ah dah. Boom dee ay.	・歌を歌う。 ・歌詞についてやり取りをする。 ・児童とともに歌う。 ・児童と教師のパートに分かれて、歌を歌う。	○次に出てくる歌詞が何であったかを尋ねることで、前時の活動を想起させる。 ○児童から出された歌詞の絵を描くことで、全体像を掴ませる。 ○児童だけで歌わせる場面を設定し、インプットが必要なところを確認し、必要に応じてインプットをし直す。 ○輪唱させることで、英語の音声で歌うことの楽しさに気付かせる。
3分	4 Small Talk 「今朝の朝ご飯」 T : (トレーと茶碗、お椀、お皿を板書する) In this morning, I ate breakfast. I ate Japanese -style food, 和食. What did I eat in this morning? C : ご飯。 T : Yes. I ate rice. (掲示物を貼る) I ate rice. Who ate rice in this morning? C : (挙手する) T : You ate rice. I ate rice, too. What did I eat in this morning?	・今朝の朝ご飯について話す。 ・児童に教師が何を食べたか発問する。	○掲示物やトレーなどの板書を活用することで、場面などを子供たちが想起できるようにする。 ○次の活動につなげるために、教師の食べたであろう和食をたくさん出させる。 ○本時の学習表現ではないが、I ate rice.などを掲示物やジェスチャーを活用して、意味と音を結び付けやすくする。

10分	<p>5 日本食と言えば</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本食にはどんなものがあるかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本食にはどのようなものがあるかを発問する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○トレーなど消すとともに、前の活動で活用した掲示物を使うことで、場面・状況を捉えられるようにする。 ○掲示物を活用することで、本時の学習表現である We have ~. It's delicious. を繰り返シインプットする。 ○一度扱った行事も再度繰り返して聞かせインプット量を増やすとともに情報を整理する。
3分	<p>6 もしもALTの先生に紹介するなら</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALTに紹介したい行事を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の様子を確認しながら、発話させる。 ・一人一人を指名する。 ・ペアで紹介するよう指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○意味と音声一致できたら、リピートさせる。 ○思考する場面をつくるため、全てをリピートさせるのではなくALTに紹介したいものだけをリピートさせる。 ○アウトプットする機会を増やすため、ペアでのやり取りを行う。 ◎自分の考える日本食について伝え合っている。〈行動観察〉
7分	<p>7 Reading and Writing 〈読むこと〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想読み ・指追い読み ・当てはまり音読 〈書くこと〉 ・なぞり書き 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを配布する。 ・どんなことが書かれていそうか尋ねる。 ・音読をする。 ・自分に当てはまるもの1つだけをなぞるように指示を出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○予想読みをさせたり、指追い読みをさせたりすることで、丁寧に音声と文字を一致させる。 ○児童の音読する様子を観察して、音声安定したら、文字をなぞらせる。 ○机間指導しながら、英文を確認したり、児童に英文の音声化をさせたりする。
13分	<p>7 【Activity】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアでの話し合い ・ポスターづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで次時に紹介する内容を決めさせる。 ・決めたものがわかる絵を記入させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前時、本時のReading and Writingで記入したものをもとにペアに学習表現を使って伝えるように、声をかける。
1分	<p>8 挨拶</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○気持ちよく挨拶をさせる

T : We have rice. It's delicious.
(掲示物を活用しながら)
We have *miso* soup. It's delicious.
(掲示物を活用しながら)
他には何かあったっけ?
C : 焼き魚
T : Yes. We have grilled fish. It's delicious.
(児童から出された考えを絵で表す)
We have grilled fish. It's delicious.
What food do we have in Japan?

T : That's all for today. Good bye, class.
C : Good bye, Mr ○○.

第4時間目

(1) 目標

他者に配慮しながら、自分の考える日本文化について伝え合う。

(学びに向かう力、人間性等)

自分の考える日本文化について例文を参考に書く。

(思考力、判断力、表現力等)

(2) 展開 (4/4時)

時間	児童(C)の活動 *【 】誌面化された活動	指導者(T)の働きかけ	○指導上の留意点 ◎評価〈方法〉
1分	1 挨拶 T : Hello, class. T : How are you today? T : How is the weather? C : Hello, ○○ sensei. C : I'm fine. C : It's sunny.	・全体に挨拶をする。	○外国語活動の時間が始まったことを意識させるために、英語で挨拶をする。
4分	2 早口言葉 「The dog is in the doghouse.」 ・早口言葉に取り組む。	・PC操作をし、動画を視聴させる。 ・早口言葉の様子を表す資料を掲示する。 ・できるかどうかを尋ね、早口言葉に取り組ませる。 ・どんな音が多いか発問する。 ・英文を提示し、どんな文字が多いか発問する。	○資料(イラスト)を活用することで、内容が捉えられるようにする。 ○何度も口に出して言わせることで、上手く言えない楽しさを味わわせる。 ○早口言葉の音について発問することで、頭字音に意識を向けさせるとともに、頭字音にどんな音が入るか考えさせる。
4分	3 Song 「I Love the Mountains」 ・歌を歌う。 I love the mountains. I love the rolling hills. I love the flowers. I love the daffodils. I love the fireside. When all the lights are low. Boom dee ah dah. Boom dee ah dah. Boom dee ah dah. Boom dee ay. Boom dee ah dah. Boom dee ah dah. Boom dee ah dah. Boom dee ay.	・歌を歌う。 ・歌詞についてやり取りをする。 ・児童とともに歌う。	○次に出てくる歌詞が何であったかを尋ねることで、前時の活動を想起させる。 ○児童から出された歌詞の絵を描くことで、全体像を掴ませる。 ○児童だけで歌わせる場面を設定し、インプットが必要なところを確認し、必要に応じてインプットをし直す。
	・パートごとに分かれて、歌う。	・児童と教師のパートに分かれて、歌を歌う。	○輪唱させることで、英語の音声で歌うことの楽しさに気付かせる。
5分	3 Review 「日本文化・日本食は、どんなもの？」 春の場合 T : We have <i>ohanami</i> in spring. It's fun. We have <i>dango</i> . It's delicious. 他には何があったけ?	・カードを掲示しながら、日本文化や日本食を紹介する。 ・児童だけで発話するよう声をかける。 ・他のも紹介できるものがないかを発問する。	○四季の花の写真を掲示することで、日本の文化について伝え合う場面を設定する。 ○始めは教師がカードを使いながら、文化などについて話すことで、児童に単元で学習した言語表現を想起させる。 ○ある程度想起できたら、徐々に児童だけで発話させていく。 ○カード以外で紹介できるものがないかを児童に発問することで、様々な文化があることを確認する。

7分	4 【Activity】 発表に向けての準備	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアごとに発表の準備をするよう声をかける。 ・ペア毎に発表の確認をさせる。 	○机間指導をすることで、各ペアが紹介する内容について確認する。
15分	5 Main 1 【Activity】 ALTに日本文化を紹介しよう <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈発表例〉 Hello. My name is ~. We have <i>hanami</i> in spring. It's beautiful. Hello. My name is ~. We have <i>osechi</i>. It's delicious. Thank you.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTに文化を紹介するという目的を確認する。 ・発表の仕方を説明する。 ・発表の進行をする。 	○発表を聞く児童に、どんなものを紹介しているかを聞くことに注目して聞くように声をかける。 ○発表後に、ALTから発表に対するコメントをもらうとともに、ALTの主深刻の文化についての話を聞く。 ◎We have~in~. It's~.等を使って、自分の考える日本文化について伝え合おうとしている。〈行動観察、記述観察〉
8分	6 【Let's Read and Writing】 ガイドブックづくり <ul style="list-style-type: none"> ・ALTに紹介した内容の中から、自分が紹介したいものを選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドブックの目的を確認する。 ・話せるようになったことを、今まで書き写している文を参考にしながら書かせる。 ・机間指導をする。 	○今までの「Reading and Writing」で書きためたものを参考にさせることで、ガイドブックづくりに取り組ませる。 ○相手が読みやすいよう、丁寧に書かせるために、全体に声をかける。 ○音と文字の一致をさらに図るために、早く終わった児童には何度書いたか声をかけて文字の音声をさせる。 ◎日本文化について話したことを、今まで書き写している文を参考にしながら書こうとしている。〈行動観察、ワークシート〉
1分	7 挨拶 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>T : That's all for today. Good bye, class. C : Good bye, Mr ○○.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶をする。 	○気持ちよく挨拶をさせる。

What event do we have in Japan?



We have Dolls' Festival in spring.



We have hanami in spring.



We have tanabata in summer.



We have bon odori in summer.



We have otsukimi in autumn.



We have momijigari in autumn.



We have New Year's Day in winter.



We have snow festivals in winter.



Name _____